

新たなキャンパスにおける3つの機能

A クリエイティブ研究拠点

未来生活を描き(イノベーション+デザイン)、描いた未来を実証します。都市、街並みから建築、生活用品まで、多様なフィールドにおけるエンジニアリング・デザインを実施するほか、施設内において、リビング、キッチン、ベッドルーム等の多様なプロトタイピングが可能となります。

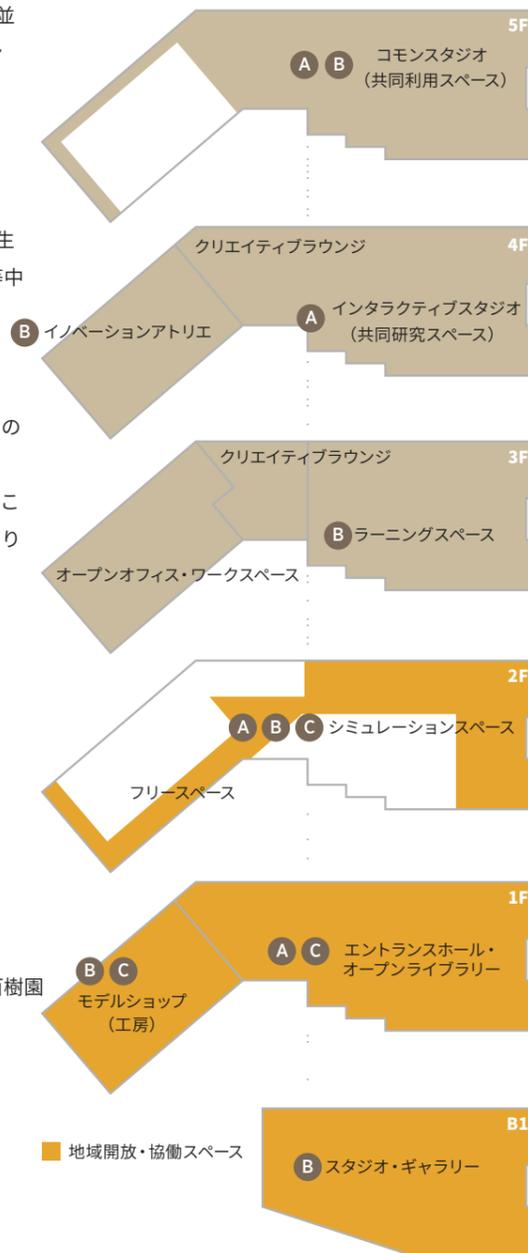
B 多様な教育プログラム

西千葉等で実施している学部、大学院の演習授業等の一部を実施するほか、留学生向けのショートプログラム、国内の企業向けリカレントプログラム、高大接続・初等中等教育との接続授業等を実施します。

C 地域連携

リージョナル・リサーチ・インスティテュートとして、地元企業の技術開発支援やものづくり研究施設など、すみだ中小企業センターのレガシーを引き継ぎます。また、地域住民も活用可能なスペースとすることで、イノベーションを身近に感じることのできる環境を構築するとともに、本キャンパスは公・民・学が連携したまちづくりプラットフォーム「UDCすみだ」の活動拠点になります。

キャンパスフロアマップ



未来志向型キャンパス

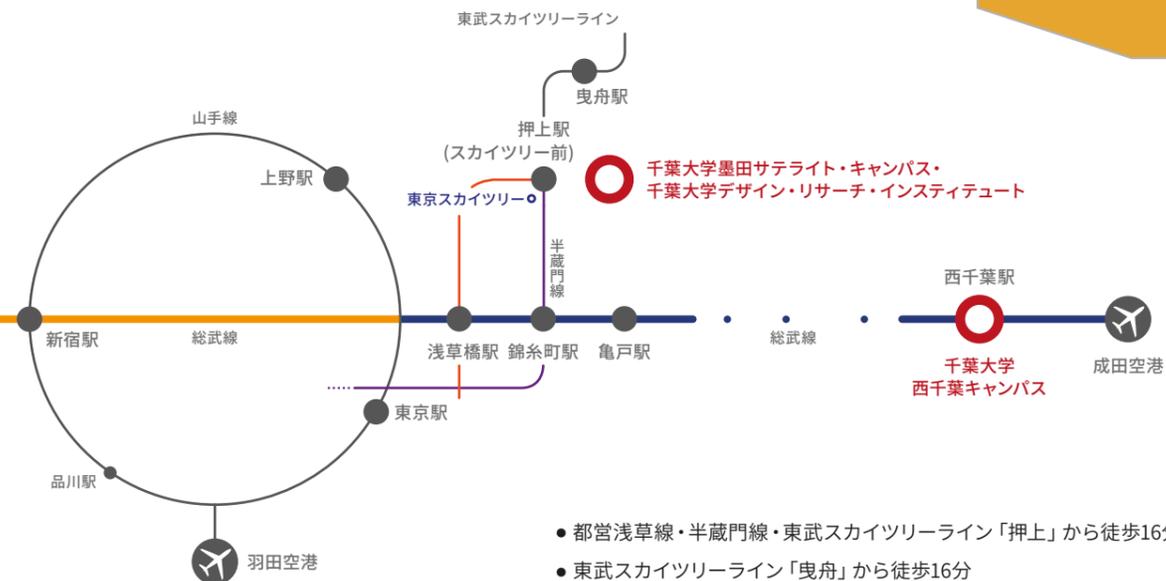
立地

- 匠の拠点である東京都墨田区に立地
- 他のキャンパス(西千葉・松戸・亥鼻・柏の葉)との連携
- 首都圏の自治体・企業・大学との連携

施設配置

- キャンパス・コモン: 地域とキャンパスを結ぶ集いの場
- 千葉大学 dri・情報経営イノベーション専門職大学・文花子育てひろば・あずま百樹園
- 学術拠点、地域住民の居場所、自然環境の共在・ネットワーク

キャンパスロケーション



千葉大学墨田キャンパス設置準備事務局 sumida-jimu@chiba-u.jp www.chiba-u.ac.jp
Copyright 2020 Chiba University. All Rights Reserved.

知の拠点・デザインの中心としての墨田区と千葉大学の新しい教育研究環境



千葉大学
デザイン・リサーチ・
インスティテュート

Introduction to
CHIBA UNIVERSITY
DESIGN RESEARCH INSTITUTE
in TOKYO

※本組織については、機能等について現在検討を行っておりますので、組織の名称等も含め、本紙に掲載されている内容から今後変更される可能性があります。





driが展開する具体的な教育研究内容

- 教育**
 - 通常授業
スタジオ実習などの演習型授業を中心に、海外大学と連携したワークショップ（参加体験型学習）や、西千葉キャンパス等と遠隔で接続するリアル・リモートのハイブリッド授業等を実施します。
 - 留学生向けプログラム
デザインにおける最先端のトピックを扱うなど、企業の第一線で活躍したプロデザイナーによる徹底したスタジオワークで実践力を育成するプログラムや、まちづくり、商店街活性化等をテーマにしたワークショップ等を実施します。
- 研究**
 - 暮らしているだけで健康で活動的になるコミュニティの創出を目指す健康まちづくりに関する研究や、オフィス内の環境緑化の方法として栽培活用できる植物工場技術を活用した栽培什器のデザイン開発等を実施します。



デザイン・リサーチ・インスティテュート (dri) の目的と必要性

持続可能な社会の発展や少子高齢化等による社会の要求の高度化などを背景に、次のイノベーションを先導するためには、教育・研究における分野横断的な展開が重要な鍵となります。そこで、100年の歴史を誇る千葉大学のデザイン教育・研究を工学全般から文理横断へと分野を超えて発展させるため、建物全体が実証実験空間となり、生活の全てをシミュレートできる最先端のキャンパスをものづくりのまちである墨田区に整備し、イノベーション創出に向けた産学官連携による分野横断的デザイン教育・研究を展開します。

新たなデザイン教育・研究の3つの強化ポイント

● エンジニアリングの新たな展開に対応した演習授業の充実

新たな技術の創出に伴い、エンジニアリングは常に新たな展開を見せ多様化しているため、多様化する専門領域を概観し、高度実務家教員によるプロフェッショナル教育が必要です。

クロス・アポイントメント・システム[※]による多様な高度実務家教員を採用し、多様な領域のプロフェッショナルによる最先端の学びを実現します。

[※] 研究者等が大学や民間企業等の二つ以上の機関に雇用され、それぞれの機関における役割に応じて研究等に従事する制度。

● リアルとバーチャルの統合による体系的教育

実物を知る機会が減少した現代、実物大のプロトタイピング（試作）を通したリアルな体験が必須であり、加えて、IoTなどの最新技術を駆使するには、現実の経験をバーチャル空間に投影する能力が必要です。

高天井・大空間を活かした実物大の総合的プロトタイピングが可能となる、常に現物に触れあうことができるスタジオを整備し、フルスケールの車両、二階建て住宅、ウィンドウディスプレイなどを実装します。

● 地元の具体的事例に触れ実践的な創造性を涵養

伝統工芸から最先端技術まで多様な具体的事例が集積するエリアで創造性を涵養し、それらを研究・開発につなげて実践的学習への即時フィードバックを行います。

社会の課題解決の実践と教育・研究が隣接した環境において、プロフェッショナルの指導のもと、現実の課題解決に取り組み教育・研究のパフォーマンスを向上させます。

領域連携によって集合知を生み出す共創PBL（課題解決型学習）

